

# 産医大に急性期診療棟 来月17日開院

産業医科大学病院（八幡西区）に急性期医療に特化した急性期診療棟が完成し29日、記念式典と内覧会があった。8月17日に開院する。新病棟は地上5階建て、延べ床面積

急性期診療棟のハイブリッド手術室を視察する加藤厚生労働相（左から3人目）ら



## 最先端技術で患者負担軽減

加藤厚生労働相ら  
ら典  
念式  
記  
招

2万2000平方メートル、全205床。これまで12室あった手術室を新病棟に移し、17室を増設。うち2室はCTや血管造影検査もできるハイブリッド手術室で、最先端の技術を導入し患者の負担を軽減する。

また、総合周産期母子医療センターも新病棟に移転するほか、国内唯一の産業医養成機関として、患者の治療と仕事の両立や就労の支援を医学生が学ぶ「両立支援室」を新設する。

記念式典で同大の生田正之理事長は「学生の学習環境、患者の療養環境改善の第一歩。期待され信頼され続ける大学であり続ける」と述べ、加藤勝信厚生労働相は「患者や家族を総合的にサポートする優れた産業医の育成に期待している」と祝辞を述べた。【山下智恵】

(掲載について毎日新聞社許諾済、無断転載（コピー、スマートフォン等での撮影）禁止)